

多高通信

第143号 平成29年6月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

県高校総体結果報告

◎弓道部 インターハイ出場!

山岳部・水泳部・陸上部

東北大会出場!

◎弓道部個人 優勝!

東北大会・インターハイ出場決定!

■佐藤 拓都(2年1組 多賀城中出身)



今回の県総体では、たくさんの方々からいただいた応援や励ましのおかげで優勝することができました。本当に感謝しています。しかし、試合では、20射すべての中させる目標で臨んだものの、2本外してしまったり、中つても的の端だったり満足いくものではなかったので、次に控えている試合までに修正する必要があると考えています。インターハイに向けた前哨戦である東北大会で練習の成果を発揮し、インターハイにつながる良い経験・結果を得られるようにしたいです。

私が試合に向けて練習していく上での目標は、全国大会本番の緊迫した場面でもしつかり的中できるようにし、かつ、よりの中心に中ていけるようにすることです。仲間や監督の力を借りながら、確実に的中できるように全力で射を磨いていきます。インターハイは今回が初出場となるのですが、経験の有無は関係ありません。自分の射をしつかりと出し切り、本気で優勝を狙っていきますので、応援よろしくお願いします!

◎山岳部・男子 3位入賞・東北大会出場!

■部長 高橋 弘基(3年4組 高崎中出身)

県総体は、6月3日から5日の2泊3日、中央蔵王で

行われました。強風のため1日目のテント設営が中止になったり、2日目の行程が幾々温泉から自然園の往復となるなど、悪天候の中で多くのアクシデントが起きました。大会中はミスも多く、満足できない点が多く残ってしまいました。東北大会への切符を得ることができたので、今度こそ悔いを残さずに大会を楽しんできたいと思っています。

◎水泳部 3名・5種目で東北大会出場!

木村海璃君

男子400m個人メドレー6位

阿部 夏さん

100m平泳ぎ5位・200m平泳ぎ7位

千坂 遥南さん

100m背泳ぎ7位・200m背泳ぎ5位

■部長 木村 海璃(3年6組 多賀城二中出身)

競泳は100分の1秒を争うスポーツです。1年生の時は0.5秒にも満たない差で負け、中学校1年生から出場し続けてきた東北大会を初めて逃してしまいました。その悔しさをバネに練習し、昨年はまた東北大会に出場することができました。



今年の県総体では、予選・決勝とベストを更新し続けることができ、とても清々しく試合を終えることができました。東北大会でも、今までの選手生活の集大成となる泳ぎをし、さらに自己ベストを更新できるように精一杯頑張ります!

◎陸上部・女子走高跳 3位入賞・東北大会出場!

■小松 瑠伽(3年6組 高砂中出身)

天童市で行われた東北大会に走高跳で出場してきました。私が東北大会という大きな舞台で競技ができたのは、支えてくださった皆さん、応援して下さった皆さんのおかげです。



自己ベストに届かず悔しい結果となってしまいました。自分の跳躍ができたので良かったです。皆さんの応援、ありがとうございました!

日本地球惑星科学連合

JpGU AGU Joint Meeting 2017

5月20日から6日間、世界中から地球惑星科学の研究者や学生が集う研究大会「日本地球惑星科学連合大会」が千葉県の幕張メッセで行われ、本校の災害科学科の2年生2名が、21日に行われた高校生ポスター発表で、これまでの浦戸実習における研究成果を発表を行いました。

当日は、ノーベル物理学賞受賞者の東京大学卓越教授・梶田隆章氏、元アメリカ地球物理学連合地震学部門長官の地震学者・Lucy Jones氏による基調講演や、地球科学分野の最前線の研究者による講演「地球・惑星トップセミナー」などが開催され、研究者や他校の高校生らとのディスカッションを通して今後の探究への意欲を新たにしていきました。

■成田 朱里(2年7組 幸町中出身)

私たちは幕張メッセで行われた世界的な研究大会で浦戸諸島の地層構造の研究結果のポスター発表を行いました。はじめのうちうまく発表できませんでした。研究者の方から発表のアドバイスを頂き、発表のたびに改善を加えていくことで良い発表ができるようになってきたと思います。また、研究者の方や学生の方から、もっと深く調べた方が良い点や研究を発展させるためのアドバイスを頂いたことで、今年度の研究に生かしていかたいと思います。普段の研究発表では、高校生の前で発表することが多いので、今回の経験は非常に貴重なものとなりました。

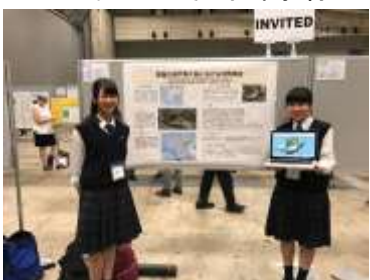
ポスター発表の他にも、最前線で研究している研究者のお話を聞きました。女性地震研究者のルーシー・ジョーンズ氏の基調講演で生の英語に触れることができ、色々な研究者の研究内容を聴いて自分の知識がまだまだ少ないのだと痛感しました。

この1日で得たものを今後の活動にも生かし、さらに高度な研究に挑戦していきたいです。

塩竈一中「防災教室」

本校防災委員が講師を務めました!

6月11日、本校2年生の防災委員14名が、塩竈一中さんの「防災活動」で講師を務めました。この日は、塩竈市総合防災訓練の日で、塩竈一中さん



は、市全体の避難訓練の後に学年毎に防災活動に取り組みました。本校防災委員は、中学2年生12名と地域の方を対象に「多賀城高校における防災活動の発表」と「防災ワークショップ」を行いました。「多賀城高校における防災活動の発表」では、「災害科学科の授業内容」や「まち歩きマップ」も紹介しました。塩竈一中の生徒さんは興味深く聞いてくださり、たくさん質問を受けました。

「防災ワークショップ」は、地域の方にも参加していただき、24グループに分かれて行いました。グループ毎に自分が「沿岸部」「都市部」「山間部」のどこにいるかを決めてもらい、その場所で大規模な地震が発生したときの起こりうる危険と身を守る行動を考え、発表しました。最初はなかなか付箋に自分の意見を書けない人もいましたが、少しずつ慣れていき、最後には5つのグループが全体の前で堂々と発表しました。

防災委員にとって貴重な経験となりました。塩竈一中の皆さん、ご協力ありがとうございました!

■藤井 天音



(2年5組 田子中出身) 私は今回、ワークショップのメインファシリテーターを務めました。大人数の前で緊張してしまいましたが、とても良い経験になりました。事前にコミュニケーションをしたり、私なりに準備はしていたものの、中学生相手となると指示が伝わりにくかったりして、思うように進めることができませんでした。時間がかりすぎってしまったことも改善の余地がある点だと感じました。

■藤村 涼香(2年1組 塩竈二中出身)

最初に行った「多賀城高校における防災活動の紹介」では、分かりやすく説明でき、中学生もクイズに積極的に参加したり、質問してくれたりして、とても良い時間になったと思います。また、ワークショップでは、内容や方法について指示することが少し難しかったのですが、中学生が積極的に意見を言ってくれたり、指示したとおりに行動してくれたりして助けられました。今回のような、中学生と防災について考える活動を、他の中学校にも広げていければいいな、と思いました。